



bsk report

Flag

フレンドリーカップ
特集号

No.3

「きびしいこともあったけど…、やってよかった!!」

2017年 8月26日発行

3年生にとって最後の総体が終わって、およそ1か月が過ぎた8月20日、今回で第21回を数えるフレンドリーカップが我孫子高校体育館で行われました。

このイベントは、部活動をやり遂げた、中学3年生女子を対象に、バスケットボールの魅力をもう一度味わってもらおうべく開催されるもので、ひとりでも参加OK。(むしろ大歓迎) この日編成されるチームは、あえて学校はばらばら。少し前までライバルだった人たちと力を合わせ、優勝をかけて戦うのです。

きっかけは、応援の延長線

会場を探すところから告知など、企画、運営はすべて、bsk@柏が行っています。きっかけは、十数年前、現役の保護者だったとき。娘の引退とともに、応援にも燃え尽きたはずの自分たち。ああ、でも…。できればもう一度だけ、娘たちが試合をするところを見たい。大好きなバスケットに興じる、あの生き生きした顔が見たい。そんな親たちの気持ちと、子どもたちのやりたい! が一緒になって、実現したのでした。

この日は、柏市を中心に、松戸市や我孫子市など近隣合わせて48名の中学生が参加、6チームに分かれて順位を競いました。はじめは少々遠慮がちな空気もありましたが、そこはやはり同じバスケットの高みを目指したもので、通じ合うものがあるのでしょう。コートの中で目を合わせながら、ボールを追いながら、打ち解けていくのがわかりました。

監督は保護者さん

各チームにはそれぞれ監督がつきます。なんと見学にきた保護者さんの中から直前に依頼。「やったことがなくて何もわかりません…」としり込みされた方もいましたが、面白いものです。その方のチームが見事優勝しました。

そして、次のステージへ

全員参加のフリースローやジャンケン大会を合間に挟み、各賞の発表やカップの授与、記念品の贈呈など、会はなごやかなうちに終了しました。3年生には、これから次のステージへと向かうひととき、大いにリフレッシュされたことと思います。



ゲームの様子。審判の方もいます。



列の先頭に今日の監督さん。



ジャンケン大会の様子。手前で見えているのが記念品と記念ボール。

